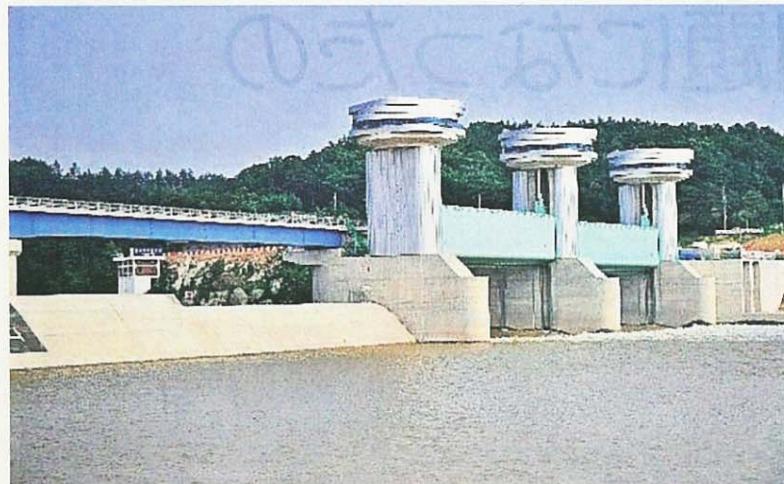


よなかふしきわ
世の中には不思議で分かりづら
いことがたくさんあります。自然、
科学、歴史など、詳しい先生に解き
あ明かしてもらいましょう。

し 知りたい好奇心



建設中の堰



堰によって水が蓄えられ、ここが川だとは分かりません。ナクトン川ではこのような景色が連続しています

せきみずかくほ 水を確保するための堰 かわすがたおお川の姿を大きく変える

地球は水の惑星と言われるように、海には大量の海水があります。しかし私たちが使いやすい淡水は、地球上の水の0・01%でしかありません。

お隣の国韓国では、大都市の人々が使う水を確保することに大変苦労していますので、国家プロジェクトとして川に堰をたくさん作る工事が行われました。

ゆっくりと海へ

朝鮮半島の東を南北に流れるナクトン川（洛東江）には、上流から下流にかけていくつもの堰が建設されました。その結果、数日で流れ下つていた川の水は、60日以上かけてゆっくりと海に到着するようになり、おかげでこれまでよりたくさん淡水を確保できるようになります。

たくさんのお金

自然の川をせき止めてダム湖のようにしてしまえば、このような問題が起きることはない、実は予想されていたこと

てしましました。河原があり、瀬や淵もあった川は、ダム湖が連續したような姿になり、一見してこれが川だとは分からぬほどです。

ダム湖のように水がその場所に長くとどまるということになると、それを使って水中で植物プランクトンが大量繁殖することがあります。ナクトン川の場合には、夏にアオコと呼ばれる植物プランクトンが増殖し、ダム湖一面が緑のペンキを流したようになりました。

しかしそのことは、作ったたさんの堰をこれからもずっと維持管理し、また水道水を作るために導入した最新技術を使うために、たくさんのお金を使い続けることを意味します。

日本でも同じような道をただつた例はいくつもあります。都市部に多くの人が住めるようにし、不自由なく水を手に入れるためには、大きなお金とエネルギーが必要なのだということがよくわかりますね。

(山梨大学総合研究部国際流域環境研究センター教授 風間ふたば)